

CSR アクションプラン

日本化薬グループは、KAYAKU spirit 「最高の製品を不断の進歩と良心の結合により社会に提供し続けること」を達成することによりCSR経営を行ってまいります。事業活動と連動したCSRアクションプランをご紹介します。

2013 年度 CSR アクションプランの結果と 2014 年度の目標

日本化薬グループの事業活動と連動した2013年度CSRアクションプランの自己評価をまとめ、2014年度CSRアクションプランをご紹介します。

分野	No. (Challenge 100A) / 中期CSRアクションプラン	2013年度CSRアクションプランに対する成果	評価	2014年度CSRアクションプラン
社会貢献	1 従業員へのCSRコンプライアンスに対する意識向上を図る	コンプライアンス研修(グループ社会の原則、CSR研修:13回実施) コンプライアンス研修(グループ社会の原則、CSR研修:13回実施)	○	グループ内外の従業員に対する、コンプライアンス研修
	2 環境先進企業として社会貢献活動を進める	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める	○	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める
	3 化学製品の安全な利用を促す	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す	○	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す
	4 化学製品の安全な利用を促す	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す	○	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す
	5 化学製品の安全な利用を促す	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す	○	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す
	6 化学製品の安全な利用を促す	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す	○	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す
	7 化学製品の安全な利用を促す	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す	○	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す
	8 化学製品の安全な利用を促す	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す	○	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す
	9 化学製品の安全な利用を促す	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す	○	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す
	10 化学製品の安全な利用を促す	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す	○	化学製品の安全な利用を促す 化学製品の安全な利用を促す
環境	11 環境先進企業として社会貢献活動を進める	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める	○	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める
	12 環境先進企業として社会貢献活動を進める	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める	○	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める
	13 環境先進企業として社会貢献活動を進める	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める	○	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める
	14 環境先進企業として社会貢献活動を進める	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める	○	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める
	15 環境先進企業として社会貢献活動を進める	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める	○	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める
	16 環境先進企業として社会貢献活動を進める	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める	○	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める
	17 環境先進企業として社会貢献活動を進める	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める	○	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める
	18 環境先進企業として社会貢献活動を進める	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める	○	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める
	19 環境先進企業として社会貢献活動を進める	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める	○	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める
	20 環境先進企業として社会貢献活動を進める	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める	○	環境先進企業として社会貢献活動を進める 環境先進企業として社会貢献活動を進める
社会貢献	21 社会貢献活動を進める	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める	○	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める
	22 社会貢献活動を進める	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める	○	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める
	23 社会貢献活動を進める	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める	○	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める
	24 社会貢献活動を進める	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める	○	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める
	25 社会貢献活動を進める	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める	○	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める
	26 社会貢献活動を進める	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める	○	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める
	27 社会貢献活動を進める	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める	○	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める
	28 社会貢献活動を進める	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める	○	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める
	29 社会貢献活動を進める	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める	○	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める
	30 社会貢献活動を進める	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める	○	社会貢献活動を進める 社会貢献活動を進める

▶ 2013年度CSRアクションプランの結果と2014年度の目標 PDF



PDF形式のファイルをご覧になるためにはAdobe Readerが必要です。Adobe Readerをお持ちでない場合は、左のアイコンからダウンロードして下さい。

中期 CSR アクションプラン

日本化薬グループでは、2013年4月より、2016年の創立100周年を目指した新たな3カ年中期事業計画Challenge 100A! (Challenge toward our 100th anniversary)を開始しました。これに伴い、Challenge 100A! 期間中に取り組む中期CSRアクションプランを設定しました。本中期CSRアクションプランを全役員・従業員に徹底し、CSR経営への意識を高めるとともに、全員一体となった取り組みを進めてまいります。

社会的責任の中核主題	社会的責任の中核主題	中期CSRアクションプラン	No. (Challenge 100A) / 中期CSRアクションプラン
人権	課題1: 人権に関する意識の向上	人権に関する意識の向上	1
	課題2: 人権に関する意識の向上	人権に関する意識の向上	2
	課題3: 人権に関する意識の向上	人権に関する意識の向上	3
	課題4: 人権に関する意識の向上	人権に関する意識の向上	4
	課題5: 人権に関する意識の向上	人権に関する意識の向上	5
	課題6: 人権に関する意識の向上	人権に関する意識の向上	6
	課題7: 人権に関する意識の向上	人権に関する意識の向上	7
	課題8: 人権に関する意識の向上	人権に関する意識の向上	8
	課題9: 人権に関する意識の向上	人権に関する意識の向上	9
	課題10: 人権に関する意識の向上	人権に関する意識の向上	10
環境	課題1: 環境に関する意識の向上	環境に関する意識の向上	11
	課題2: 環境に関する意識の向上	環境に関する意識の向上	12
	課題3: 環境に関する意識の向上	環境に関する意識の向上	13
	課題4: 環境に関する意識の向上	環境に関する意識の向上	14
	課題5: 環境に関する意識の向上	環境に関する意識の向上	15
	課題6: 環境に関する意識の向上	環境に関する意識の向上	16
	課題7: 環境に関する意識の向上	環境に関する意識の向上	17
	課題8: 環境に関する意識の向上	環境に関する意識の向上	18
	課題9: 環境に関する意識の向上	環境に関する意識の向上	19
	課題10: 環境に関する意識の向上	環境に関する意識の向上	20
社会貢献	課題1: 社会貢献に関する意識の向上	社会貢献に関する意識の向上	21
	課題2: 社会貢献に関する意識の向上	社会貢献に関する意識の向上	22
	課題3: 社会貢献に関する意識の向上	社会貢献に関する意識の向上	23
	課題4: 社会貢献に関する意識の向上	社会貢献に関する意識の向上	24
	課題5: 社会貢献に関する意識の向上	社会貢献に関する意識の向上	25
	課題6: 社会貢献に関する意識の向上	社会貢献に関する意識の向上	26
	課題7: 社会貢献に関する意識の向上	社会貢献に関する意識の向上	27
	課題8: 社会貢献に関する意識の向上	社会貢献に関する意識の向上	28
	課題9: 社会貢献に関する意識の向上	社会貢献に関する意識の向上	29
	課題10: 社会貢献に関する意識の向上	社会貢献に関する意識の向上	30

中期CSRアクションプラン

日本化薬グループでは、2013年4月より、2016年の創立100周年を目指した新たな3カ年中期事業計画 **Challenge 100A!** (Challenge toward our 100th anniversary)を開始しました。これに伴い、**Challenge 100A!** 期間中に取り組む中期CSRアクションプランを設定しました。本中期CSRアクションプランを全役員・従業員に徹底し、CSR経営への意識を高めるとともに、全員一体となった取り組みを進めてまいります。

分類	No.	Challenge 100A! 中期CSRアクションプラン	2013年度アクションプランに対する成果	評価	2014年度 アクションプラン
基盤	1	従業員のCSRとコンプライアンスに対する意識を向上させる	コンプライアンス研修:グループ会社含め50回、CSR研修:13回実施 コンプライアンスアンケート実施とフィードバック	○	グループ会社を含めたCSR・コンプライアンス研修
	2	有事発生時においても事業継続性を確保する	海外危機管理マニュアル制定 BCP訓練の実施 インフラの構築を実施	○	自然災害以外のリスクに対応したBCPマニュアルの整備と訓練 ITシステムの被災リスク低減と迅速な復旧環境の確保(2014年度完了)
	3	化学物質に関する規制を遵守する	化学品法令基礎教育資料を整備し教育を実施 GHSの入門資料を整備し教育を実施	○	化学物質規制に関する社内教育プログラムの充実 各国基準に適合したSDS*によるお客様への情報提供
社会的責任	4	がんとがん関連分野における研究・開発・製品情報提供により社会に貢献し続ける	血管塞栓用マイクロスフィア:2製剤上市 抗がん薬内包高分子ミセル:国際共同試験が進行中 取扱が5品目増加したことに伴い、研修を増やしサポート体制を維持強化	◎	血管内治療分野における低侵襲治療の提供、抗がん薬内包高分子ミセルの開発推進 医薬品情報センターのさらなる充実による安全管理、品質向上
	5	従業員の火薬類取り扱いに関するスキル・知識の習熟を徹底する	受講対象者36名に対し5回の講習を実施	○	火薬安全維持推進チームによる階層別教育プログラムの実践
	6	農業安全使用のための現地指導を継続実施する	販売員一人あたり平均471回/年、販売窓口へ訪問	◎	農家へ農業安全・適正使用の説明会実施
	7	サプライヤーと連携したCSR調達を推進する	購買理念・購買基本方針・CSR調達ガイドラインの準備	○	サプライヤーと連携してCSR調達の運用を開始
	8	重大事故災害による環境影響や労働災害を未然に防止する	重大事故災害:0件、休業災害:2件、無傷害事故:1件、不休業災害:3件 医薬MR業務上および通勤途上自動車事故率:11.5%	△	重大事故災害、休業災害、無傷害事故:0件、不休業災害度率:5件以下 医薬MR業務上および通勤途上自動車事故率:4%以下
	9	顧客苦情・品質工程異常を低減する	重大顧客クレーム:2件、重大品質工程異常:1件	×	重大顧客クレーム:0件、重大品質工程異常:0件、なぜなぜ分析の職場展開による再発防止の強化
	10	地域社会とのコミュニケーションを行う	あすなるの家2013年利用者:132家族(稼働率64%) ピンクリボン活動:7事業場で実施、乳がんinfoナビのリニューアル 工場祭:5事業場(来場者約8,000名)、地域懇談会:4事業場、 清掃活動:6事業場、公開講座:4事業場で実施	◎	「あすなるの家」運営を通じ、難病とたたかう子どもとその家族をサポート ピンクリボン活動・工場祭・地域との懇談会・地域清掃活動・公開講座の継続実施
	11	ステークホルダーに対して適時適切な情報発信を行う	日本語版ウェブサイトのリニューアル 中国子会社へのERPシステム導入支援、グローバル経理会議開催 グループ会計方針規程策定	○	グローバルサイト化に向けたウェブサイトの充実 投資家とのコミュニケーションの充実、100周年に向けた社内報の企画充実 決算開示の早期化の推進、IFRS(国際財務報告基準)への対応準備
	12	多様な人材を活用・育成する	障がい者の法定雇用率2.0%達成、女性管理職の割合:4.2%へ増加 定年到達者の再雇用希望者雇用率:ほぼ100% 中国人ナショナルスタッフの育成研修開始、語学海外短期留学制度開始 海外赴任前教育プログラム強化	◎	身体・知的障がい者の継続的採用、女性の育児休職後の復帰・子育て支援による女性管理職の増加 高齢者の能力活用により技術継承を図る取り組み
	13	従業員の安全と健康に配慮し、ワーク・ライフ・バランスのとれた労働環境を提供する	メンタルヘルス研修:3カ年計画通り実施、健康診断:受診率100% 有給休暇取得率:前年度54.7%⇒59.0%に上昇	○	メンタルヘルス研修:3カ年計画受講率100%、健康診断:受診率100% 次世代育成支援プログラムの周知徹底と利用率向上
	14	人権とプライバシーを守る	内部通報相談:10件適切に対応 パワハラ防止を主題に全従業員対象コンプライアンス教育実施	○	通報・相談窓口の周知と適切な対応
環境責任	15	グリーン調達比率の向上を図る	間接材のグリーン購入比率:8%(前年度より2%の向上) 原材料のグリーン購入比率:20%	○	間接材購買システムの推進を継続
	16	環境へ配慮し、中期環境目標を達成する	化学物質排出量の削減:データは本冊子(P22)、ウェブサイトに開示	○	化学物質排出量の削減:2020年度までの中期環境目標(ウェブサイトで詳細報告)達成に向けた取り組み
	17	廃水処理技術を向上させ、環境規制に対応する	廃水処理の新規技術:数点検討中、技術1件につき、特許出願検討中	○	規制強化を先取りした処理技術の開発、低コストの処理技術の確立
	18	より一層のエネギー低消費型企業を目指す	省エネルギー原単位:前年比4.0%削減	◎	各事業場の省エネマスタープランに従った省エネ活動の推進
経済的責任	19	持続可能な企業グループとして安定的な収益を確保する	グループ会社への中長期重点課題制度の導入 グループ会社環境安全推進会議の初開催 在庫:目標をやや上回る、プロジェクト化して削減に注力 安価購買:目標通り達成	○	グループ会社中長期重点課題制度の浸透とこれに基づく評価制度の実施 在庫量の適正化、遊休不動産の計画的売却
	20	環境・省エネルギーに貢献する製品を上市する	熱伝導接着シート:採用に目処 遮熱フィルム:サンプルワークを欧州車メーカーに開始	△	高性能熱伝導接着シート・光学制御フィルム新製品の上市 品質保証体制の向上による顧客満足度UP
	21	経済負担を軽減する高品質な医薬品を提供する	日本化薬初のバイオシミラー「フィルグラスチム」上市 ジェネリック抗がん薬を2製剤上市	○	バイオシミラーの早期上市とジェネリック抗がん薬の遅滞ない上市
	22	独自技術を応用した安価自動車用安全デバイスをグローバルに拡大し、人命保護に貢献する	マレーシア拠点の設立 メキシコ拠点への生産設備の増強を実施	○	マレーシア拠点の生産準備完了 中国・メキシコ拠点における生産設備増強
	23	ものづくり技術の継承により生産工場を維持存続する	発表会および優秀技術表彰による技術情報共有化 生産技術専門教育は、若手中心に実施	○	ものづくりに関連した全社発表会・社内教育・情報共有の推進
	24	持続的に研究テーマを創生・遂行する	次年度から開始するコーポレート研究制度に向け準備	○	新制度の有効活用と新規テーマの創生

ウェブサイトに ISO26000の社会的責任の中核主題及び課題との対照表を掲載します。

◎:十分に目標を達成 ○:ほぼ目標を達成 △:実現に向け努力中 ×:目標未達

※【SDS】Safety Data Sheet (化学物質安全性データシート)

ISO26000における各課題に対する中期CSRアクションプラン

社会的責任の中核主題	社会的責任の課題	各課題に対応する中期CSRアクションプラン
組織統治	課題1：意思決定プロセス及び構造	1 2 8 11 19 23 24
人権	課題1：デューデリジェンス	
	課題2：人権に関する危機的状況	
	課題3：加担の回避	
	課題4：苦情解決	14
	課題5：差別及び社会的弱者	12 14
	課題6：市民的及び政治的権利	
	課題7：経済的・社会的及び文化的権利	13
	課題8：労働における基本的原則および権利	14
労働慣行	課題1：雇用及び雇用関係	14
	課題2：労働条件及び社会的保護	
	課題3：社会的対話	
	課題4：労働における安全衛生	8 13
	課題5：職場における人材育成および訓練	12 23
環境	課題1：汚染の予防	3 6 8 15 16 17
	課題2：持続可能な資源の活用	15 16 18 20
	課題3：気候変動の緩和及び気候変動への適応	16
	課題4：環境保護、生物多様性、及び自然生息地の回復	
公正な事業慣行	課題1：汚職防止	1 4 9
	課題2：責任ある政治的関与	
	課題3：公正な競争	1 3 19
	課題4：バリューチェーンにおける社会的責任の推進	2 7 15
	課題5：財産権の尊重	
消費者課題	課題1：公正なマーケティング、事実に則した偏りのない情報、及び契約慣行	6 11
	課題2：消費者の安全衛生の保護	9
	課題3：持続可能な消費	4 5 20 21 22 24
	課題4：消費者に対するサービス、支援並びに苦情及び紛争の解決	
	課題5：消費者データ保護及びプライバシー	
	課題6：不可欠なサービスへのアクセス	
	課題7：教育及び意識向上	6
コミュニティへの参画及びコミュニティの発展	課題1：コミュニティへの参画	10
	課題2：教育及び文化	
	課題3：雇用創出及び技能開発	
	課題4：技術の開発及び技術へのアクセス	
	課題5：富及び所得の創出	
	課題6：健康	
	課題7：社会的投資	

No.	Challenge 100A！中期CSRアクションプラン
1	従業員のCSRとコンプライアンスに対する意識を向上させる
2	有事発生時においても事業継続性を確保する
3	化学物質に関する規制を遵守する
4	がんとがん関連分野における研究・開発・製品情報提供により社会に貢献し続ける
5	従業員の火薬類取り扱いに関するスキル・知識の習熟を徹底する
6	農業安全使用のための現地指導を継続実施する
7	サプライヤーと連携したCSR調達を推進する
8	重大事故災害による環境影響や労働災害を未然に防止する
9	顧客苦情・品質工程異常を低減する
10	地域社会とのコミュニケーションを行う
11	ステークホルダーに対して適時適切な情報発信を行う
12	多様な人材を活用・育成する
13	従業員の安全と健康に配慮し、ワークライフバランスのとれた労働環境を提供する
14	人権とプライバシーを守る
15	グリーン調達比率の向上を図る
16	環境へ配慮し、中期環境目標を達成する
17	廃水処理技術を向上させ、環境規制に対応する
18	より一層のエネルギー低消費型企業を目指す
19	持続可能な企業グループとして安定的な収益を確保する
20	環境・省エネルギーに貢献する製品を上市する
21	経済負担を軽減する高品質な医薬品を提供する
22	独自技術を応用した安価自動車用安全デバイスをグローバルに拡大し、人命保護に貢献する
23	ものづくり技術の継承により生産工場を維持存続する
24	持続的に研究テーマを創生・遂行する